

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(8/11)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
かがわ医療福祉総合特区 (香川県)	3.6	3.8	2.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅診療に対するドクターコム利活用やへき地薬局研修実施により、へき地住民への医療サービス基盤が着実に構築されていることは評価できる。</li> <li>・評価指標(4)の地域包括ケア病床について、病床設置に至ってはいないが、環境整備は進んでいると評価する。</li> <li>・構想は優れているが、人口規模を勘案しても、目標件数や実績件数の推移を見ると、現計画で遠隔地の医療が担えるか疑問を持つ。構想と実施計画の再検討が必要と思われる。</li> <li>・ドクターコムの運用にあたっては、医師との時間調整等が必要であり、場合により医師の負担になることも考えられるため、運用状況の精査が必要である。</li> <li>・地域包括ケア病床の開設にあたっては、既設施設の体制整備に学び、医師におけるグループ診療や多職種によるチーム医療体制の整備といった院内での準備態勢を整え、地方厚生局との詳細な協議が必要である。</li> </ul>
		<p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ機能統合型テレビ会議システム「ドクターコム」等による遠隔医療の推進 108%</li> <li>・へき地薬局研修参加者数 100%</li> <li>・複合型サービス施設 100%</li> <li>・島しょ部における地域包括ケア病床の確保 0%</li> </ul>	<p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離島の病院における診療報酬算定に係る病床数の基準について</li> <li>・離島の病院における施設基準に係る専従要件等について</li> </ul> <p><u>地域独自の取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合型福祉サービス充実事業</li> </ul>		